

みなしご通信



母乳神話崩壊 母猫は早め手術

犬猫みなしご救援隊広島本部には今現在、乳飲み子を抱えている母猫が12匹います。今でも「母猫がいれば安心ね」と言う人もいますが母乳を飲んだからすすく育つ…って考えは古くて、すでに10年前から母乳神話は崩れています。逆に母乳だけで育てると細胞レベルが低いまま成猫になる危険性もあります。

「昨日、1歳未満の子がFIP（猫伝染性腹膜炎）になる確率が高いのもこれらに関係しているのかなと思います。FIPは免疫の問題ですからね！で、うちでは母乳を飲んでる赤ちゃん子猫に関して、うちの者たちも介入してお母さん猫と一緒に育てるようになっていますから、ひと昔前みたいに「子育てが終わるまで



母猫は避妊手術を待つべきだ」っていうこともない。なので、お母さん猫12匹全員避妊手術をしたのです。私が避妊手術を焦る理由は、子宮の中で胎児と子宮蓄膿症の膿が一緒になってるケースをたびたび目撃するからです。もしかしてそれらが原因で産後に体調を崩す母猫がいるのかな…と思ったり。いずれにしても原因となりうる因子はひと

つずつ排除すべきだし、うちでは早めの手術をしています。手術前後お母さんは絶食で子どもたちは普通にごはんを食べる、という点だけ気をつければOK。子猫はひと晩たりともお母さんと離れなくて済むし母猫には目が覚めたら子どもがいるという安心感が与えられます。それにはもちろん「手術の傷が小さい」という条件が必要です。ウチの手術痕は極小ですから、なんの問題もないじゃろ？

スコティッシュ

スコティッシュフオールドのメス猫をペットショップで購入して5年…部屋に



入ると飛びかかって来るように怖くてどくにもならず未避妊だったのでそれも原因かと思つて獣医に相談したら「もう5歳だから今さら避妊しても手遅れ」と言われたらしく、兵庫からうちに連れてこられました。来てすぐに麻由子先生が避妊してくれましたが、やはり飛びかかって来ます。最悪人間を咬むのはヨシとしても、うちにはたくさん猫がいますからね。猫同士がケンカになったんじやどがくにもならぬので他の咬みつき猫たちと同じように私たちが面倒を見るジプシー生活にするしかないか…という結論になりました。かわいいですよ！でも咬むんですよね。

ワクチン考察

今日、私は広島市内に用事があるって出かけるのでちよつ

と怖かったです。なにが怖いって《新型コロナ》です。私もね、全国を飛び回る者の責任としてウイルス対策は万全にしているつもりです。けど万全なようで人間のやる事ですからね。ちよつとしたスキもあるでしょうし、間違いもあるわけだから…いずれにしてもウイルスって非常に怖いモノなので何年先になるのかわかりませんが世界中にワクチン（ワクチン）が整うまでは不要な外出を避け、手洗い・二重マスクの着用、そして次亜塩素酸との上手な付き合い方を徹底する…これしかないですよね。

ワクチンと言え、15年ぐらい前かな。広島では顧客が多いことで知られている有名動物病院に2週間入院していた猫を引き取つたらその子が院内感染して、うちに猫パルボが入つて来て、当時うちには猫が650匹ぐらいいたんだけど私の知恵のなさから★生後2カ月まではワクチンが打てない★出産したばかり

の母猫はワクチンが打てない★風邪をひいている子はワクチンが打てない、などなどの理由でワクチン未接種の猫が全体の1割に当たる60匹ぐらいいたのです。そんな中、感染速度がハンパない《空気感染型》の猫パルボウイルスが入って来たわけですからね。ワクチン未接種の子たちは全員感染しました。一瞬で。

そこからの1週間は本当に地獄で、点滴の機械も足らなくて機械につなげられない子たちは3階から屋上までのらせん階段に1匹ずつ寝かせて自然落下で輸液したりね、我が家は地獄以外ナニモノでもない感じでした。院長も麻由子先生も「できることをやろう！」と1%の望みをかけて大量のインターフェロンを仕入れてね：エンベロープもな最強ウイルスの猫パルボには何をやっても効果がなく、あちこちで嘔吐音や下痢音がしてそのたびに誰が吐いたのか誰が下痢をしたのかを探して：その時に我が家にはもう何年もワクチンが打てないままの野良猫気質の子もたくさんいたし、ワクチンを打ってまだ2日の子もいたけどその子たちには全く問題がなくて猫パルボにり患した様子もなく普通に生活していたので、ワクチンしかも「生ワクチン」さえ打っておれば猫パルボも怖くない！と学習したので。

この時の最悪な経験から私は《生ワクチン信者》になったわけですよ。1年しか効果がない「不活化ワクチン」はアナフィラキシーショックも起きやすいのに（※私は8年前に2匹経験しています。30秒後ぐらいに反応が出てその後亡くなりました）なんで今でも不活化ワクチンが流通するのか、なんでそれを獣医が打つのかまったく理解できません。経済の問題なのかどうか知りませんがおかしなことですよ！

皆さまも自分の愛猫がどんなワクチンを打っているか知るべきですよ！猫ワ

クチンと言ってもいろいろあります。過去の地獄のような経験から私が信用しているのは製造会社に関係なく【3種混合・生ワクチン】これのみです。あなたの愛猫が、あなたがTNRした猫が【3種混合・生ワクチン】を打っていたら安心してください。もし不活化ワクチンだったなら《必ず毎年欠かさず忘れず》打ってください。

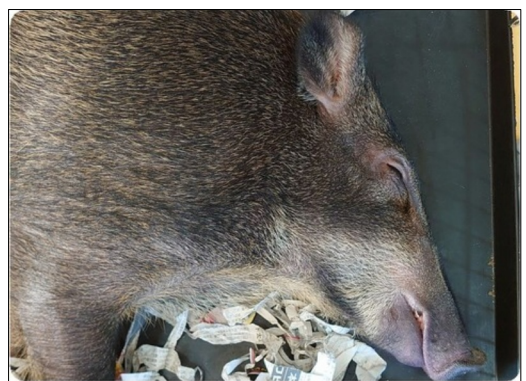
穏やかな寝顔

野生動物の寝姿は：ニホンザルは基本座って寝ます。ひろしは周りに誰がいようと、この体勢から徐々に深い睡眠に入りしめいには大



の字になつて寝ます。こんなことじゃ山じゃ生きていけませんね。

ケージ大好き少年のイノシシのカンジも、山じゃ生きていけないタイプ。カンジは早くに去勢したのでオスイノシシの武器であるキバが伸びません。でもキバが伸びてもいいような唇の形になつてます！それにしても、イノシシの寝顔は優しい…。野生動物の中で一番飼いやすいのはイノシシです。これは間違いありません。



本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビンで募金、ジャパングビンで寄付ができます。
<https://japangiving.jp/supports/1281> 皆さまからのご支援、よろしくお願ひいたします。



みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html> に掲載しております。

NPO法人 (特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711